

「那須町」

個性豊かな県内各市町を紹介しているこのページ。今回は、殺生石と九尾の狐伝説で知られる那須町をご紹介します。

～最先端のAR(拡張現実)技術を駆使した観光情報の発信をスタート



▲殺生石

那須連山の山麓、緑も美しい高原地帯に位置する那須町。標高1,915mの茶臼岳(那須岳)から220m前後の平野部まで、町内の標高差は1,700m近くにも及び、起伏に富んだ地形が美しい景観を作り出しています。

町内には、県内最古で開湯1400年近い歴史を誇る那須温泉が湧出するほか、源義経伝説に登場する伊王野、「おくのほそ道」で俳聖・松尾芭蕉が句に詠んだ遊行柳や殺生石など、歴史上の偉人に縁の史跡が数々残ります。明治以降は別荘地としても愛され、大正時代には那須御用邸が建設されて(大正15年)、皇室の静養地に使われるようになりました。近年は美術館やテーマパーク、スキー場などの観光スポットが開発され、芦野石で知られる石材業や酪農、林業などの産業とも併せて、活力ある町づくりが進められています。

四季を通じて見どころ豊富な那須町ですが、20万本以上が群生する八幡のツツジ(表紙)や国内最大のゴウツツジの群落が咲き誇るこれからの時季、一年を通じて最も美しい季節を迎えます。



News

「プロジェクト9b」

那須に伝わる九尾の狐の伝説をモチーフに、那須の魅力を国内外の人に広く発信するため、4月からスタートしたのが「プロジェクト9b」です。著名な漫画家である姫川明輝氏の描くキャラクターとAR(拡張現実)の技術を活用し、町内

9か所に設置した案内板(QRコードやARマーカーであるキャラクター)をスマートフォンで撮影すると端末にそのキャラクターが出現したり、日本語・英語・中国語の3か国語で観光情報が提供されます。

9つのキャラクターを集めるモバイルスタンプラリーも兼ねており、9キャラクターすべてを集めると姫川氏のモーショントラック動画をゲットできます。



▲観光周遊バス きゅーびー号

「殺生石と九尾の狐伝説」

魅力的な伝承に彩られた、那須を代表する名所が殺生石です。

伝承では、鳥羽上皇が寵愛した女性、実は九尾の妖狐の化身である玉藻前が正体を見破られて東国に逃れ、陰陽師・安部泰成らに打ち果たされて姿を変えたのが殺生石といわれます。死後も妖狐の毒気は消



▲殺生石



▲教伝地藏

えず、周囲の鳥や動物、人の命を奪っていたものが、鎌倉時代の高僧・玄翁和尚が金づちで打ち砕き、退治したのでした。この「毒気」、正体は周囲に噴出する火山性のガスで、今も周囲は草木の生えない独特な景観が広がります。時代は変わって現代、すっかり人々の人気



▲きゅーびー



▲千体地藏

者となったのが九尾の狐で、那須町観光協会のご当地キャラ「きゅーびー」や那須高原の観光周遊バス「きゅーびー号」にその姿を見ることが出来ます。「殺生石と九尾の狐」のユニークな伝承は、いまや那須町の名を全国に広く知らしめる助けとなっています。

「おくのほそ道」の殺生石

芭蕉が殺生石を訪れた際、馬子の求めに応じて読んだのが、この一句。併せて「おくのほそ道」では、「地面の砂が見えないほど、蜂や蝶が折り重なって死んでいた」とも記載されており、現代よりガスの影響が強かったこと、当時から殺生石は那須を代表する名所だったことがうかがわれます。こうした由来から平成26年3月、殺生石は国指定の「奥の細道の名勝地」に登録されました。

「野を横に馬牽むけよほと、ぎす」

●南ヶ丘牧場

甘くコクのある牛乳が得られるガンジー種の乳牛を育種するなど、生産から加工・販売まで一貫して行う観光牧場。乗馬や動物とのふれあいコーナーも人気です。



●那須どうぶつ王国

開園20周年を迎えた、動物のテーマパーク。東京ドームの約10倍の敷地に500頭以上の動物を飼育し、動物ショーを毎日開催します。3月には亜熱帯の湿地にくらす動物の世界を再現した全天候型施設「ウェットランド」をオープンしました。



●那須ワールドモンキーパーク

猿を中心としたふれあい型動物園。猿やゾウ、インコなどとのふれあい体験が楽しめるほか、猿の曲芸ショーやゾウライドも人気です。



●藤城清治美術館

光の祈りの芸術家として有名な影絵作家・藤城清治氏の作品を展示する劇場型美術館。ステンドグラスや影絵劇の回転舞台、プロジェクトマッピングが魅力です。



●遊行柳

「遊行」は仏教の時宗のことで、室町時代に時宗の尊厳上人が念仏で柳の精の老翁を成仏させたとの伝承に由来します。能や謡曲の題材となり、「おくのほそ道」にも登場します。



●道の駅東山道伊王野

大きな2基の水車がシンボルの国道294号の道の駅。水車を動力に石臼で挽いたそばを食べることができるほか、伊王野まつり伝承館では2台の彫刻屋台を展示します。



●那須芦野・石の美術館 STONE PLAZA

芦野石で造られた石蔵など、建築家・隈研吾氏設計の6棟の建物からなる総石造りの美術館。石材を使った工芸品や彫刻の展示のほか、コンサート等も開催します。



●那須温泉神社

7世紀に白鹿を追う途上で発見された那須温泉の故事にちなんで建立され、今は那須地方80社の総社となった神社。屋島の合戦で扇を射た那須一も戦勝祈願に訪れ、宝物殿には縁の品が展示されています。10月の例祭のほか、5月



▲御神火祭

には茶臼岳を鎮め無病息災、豊作を祈る御神火祭が行われます(今年は5月27日)。

profile

●那須町

県の北端に位置し、昭和29年(1954年)11月に那須村・芦野町・伊王野村の3町村の合併で誕生した那須町。古くは旧奥州街道や旧東山道の宿場町として発展してきた歴史を持ち、現在も国道294号周辺に市街地が形成されています。また高原部には各種のテーマパークやスキー場、ゴルフ場、美術館等が整備され、「世界に誇れる観光拠点」にふさわしい空間づくりが進められています。

- ▶面積：372.34平方km
- ▶人口：25,440人(10,257世帯)
(平成30年4月1日現在)